



# くりぐみだより



令和6年12月20日  
常盤幼稚園 担任 大和 恵梨子

今年も瞬く間に過ぎていき、あっという間に最後の月になりました。行事が盛り沢山の2学期も今日で終わり。一つ一つの行事が、幼稚園最後だね・・・と子ども達に伝えていると悲しく、寂しい気持ちがこみあげてくるばかりです。

10月には運動会がありました。くり組の運動会目標は、「みんなで力を合わせて頑張ろう！～ママたちを泣かせるぞ！～」でした。組体操・バルーンでは、ずっとお兄さんお姉さんがやってきていたのを間近に見ていた子ども達。ついに僕たち・私たちが出来る！という嬉しさもあったと思いますが、練習を始めると組体操の技を1から覚えるのにも一苦労だったみんな。時には私やふうと先生からやる気が感じられない！と怒られた日もありました。だけど、諦めず毎日の練習を頑張り、本番までにクラスの心を1つにして頑張っている姿や年少の時、あんなに小さくてお母さん達のそばから離れずに泣いていたみんなが逞しく自信を持って行っている姿に私も感動しました。リレーでは、本番の直前までくるみ組と引き分けて終わる事も多くどうやったら勝てるかその都度話し合いをしてきました。バトンパスでミスをしないようバトンを渡すときに「はい！」と声を掛けながら渡すこと・カラーコーンは小さく回ることを一人一人が心掛けると本番では見事勝つことが出来ました。もちろんこの勝つ経験も大事ですが、勝てたのは練習の時に負けて悔しい経験をしたからです。これからも子ども達には色々な経験を通して大きくなってほしいと思っています。そして、記憶に新しい12月の遊戯会では、とても上手に一人一人が自信を持って劇に参加してくれていましたね。当日は、たくさんのお客様の中緊張したと思いますが、みんな練習通り大きな声でセリフを言うてくれていて感無量でした。今回は私一人が劇の内容を考え進めてきたのではなく、26人全員でアイデアをだして考えました。去年の遊戯会から思っていたのですが、くり組は表現するのが好きな子が多いなと感じています。遊戯会が嫌だという子は誰一人もなく、早く本番来てほしい！と毎日楽しみにしていた位、遊戯会に楽しく参加してくれていました。自信を持って自分を表現出来る事って素晴らしいことですね！2学期は遊ぶ時間が十分に取れないことが多かったですが、くり組が2学期にはまった遊びがサッカーです。レッズキッズサッカーをきっかけにサッカーの楽しさに気付いた子ども達。最初は、5人位しかやっていたのが、次第に人数も増え女の子達も参加する位みんな大好きになりました。くり組は、サッカー部なのかな？と勘違いするほど、みるみるうちに上達し今では私をドリブルで抜かしてしまうことも増えました（笑）

2学期も保護者の皆様には、たくさんのご協力・ご理解をいただき本当にありがとうございました。3学期は、幼稚園でしかできない経験を最後にたくさんしてほしいなと思っています。それでは、良い冬休みをお過ごしください。

～お父さん先生のお礼～

2学期にお父さんが2名参加してくださいました。たくさん遊んでいただき子ども達も嬉しそうでした。3学期もたくさんお待ちしております！